



森ボラ通信

第16号 2003年 9月20日発行

北海道森林ボランティア協会

札幌市中央区北1条東1丁目明治生命ビル

Tel 241-8155 Fax241-8308

E-mail : shinrin-b@pc.aaapc.co.jp

森林総研作業進行

8月21日（木）20名、22日（金）25名、延べ45名で森林総研2林班「リ」小班の立枯れ掃除伐を行いました。チェーンソー3台が活動して伐倒が進み、この小林班の一旦の整理の終わりが見えてきました。

本年4月14日に作業を開始して、5ヶ月経過の実績は素晴らしいものです。暗黙のうちに各自役割分担ができていて、意思の疎通、連携動作がみごとにできています。身拵えにしても、これから行う作業に立ち向かう気構えが現われています。それぞれ個性を発揮したいでたちが素適です。

お盆が過ぎて、ススキも穂を出しています。作業中は汗が噴き出しますが、昼食時はそれが乾きひんやりします。もう秋、を実感します。キノコのシーズンに突入します。折角森に来たのです。キノコも楽しみましょう。

澄川作業進行

8月28日（木）18名、29日（金）20名、30日（土）17名、延べ55名が澄川に入りました。30日であらかたの伐倒作業が終わりました。昨年9月2日作業開始以来、入林29回、延べ作業人数572人で6.9haの除伐をやり遂げました。丸1年の森の季節変化を体感し、すっきりした森に変わったのを見るのは心地よいです。

札幌市西野第二都市環境緑地を見に行く

28日は次に取り組む西野第2都市環境緑地を午後から希望者のみで視察しました。

西野第二は住宅地に隣接しています。車の駐車場所やチェーンソーや刈払機のエンジン音の影響を心配する必要があります。公園にも隣接している場所なので、それなりの整備計画を立案しましょう。整備計画については、3、4ページをご覧ください。

澄川後片付け作業

9月2日（火）16名、3日（水）17名、4日（木）19名、延べ52名が参加。3日は主にミズナラ丸太の集材作業をしました。豊平清掃事務所からリヤカー2台を借用し、ロープでつなぎ、滑車を利用して空車を人間の重りで下がる力を利用して、斜面中ほどの作業道に集めていた材を上運び上げました。一部森の中で割って薪にしていたものは、手渡しリレーで持ち上げました。4日は森のあちこちにデポしてある材をリヤカー方式と、一人一人が担いで運び上げる方式を併用しました。いずれにしても動力は一切使わず、シルバーパワーの人力のみで持ち上げたに違いありません。材は直ちに薪の長さに玉切りし、3本の斧で割り、全部を薪の形にしました。4日は炭焼き研修材料としてニセコに運ぶ分を手渡しリレーで車に積み込み、運搬チームを送り出してから森の掃除をやりました。見落としを探し、乱れた処理を整理し、新しく伸びた蔓や萌芽を切り、最後に昨年同様に豊平清掃事務所の協力のもとゴミだしをしました。ゴミは去年の半分程度でしたが、1年間の量としては多いと思います。札幌市がゴミ捨て禁止の看板を立ててくれましたので、来年どれくらい減少するのか楽しみにになりました。

連合・愛のキャンパ地域NPO活動助成30万円

9月5日、かねて助成金を申請していました連合から郵送で通知がとどきました。金額は30万円です。入林作業交通費をお願いしましたので、まずは4～7月の交通費を清算できると思います。

札幌→支笏湖 歩き 当会より8名参加

9月7日、第26回北海道を歩こう会に協会員7名（石川、加治夫妻、柴田、津金、山中、渡部）が参加、全員元気にゴールしました。コースは真駒内から支笏湖までの36km。レコードは7時間弱、43,800歩（山中さんの歩幅です）。出発時は爽快な秋晴れでしたが、徐々に雲が広がり、終盤は霧雨混じりに。暑さに苦しめられることなく、普段の山作業ほど汗は出ませんでした。途中、混み合った山林や、絡んだ蔓を見かけると、皆の目がキラリと光りました。紅葉の兆し見え始めた広葉樹林、揺れるススキ、草むらの虫の声、其処此処で小さな秋を見つけた一日でした。（柴田久子）

※会見の竹田弘さん、折原浩司さんも参加されていたとのことなので、9名もの参加となりました。

9月幹事会

9月9日、9月定例幹事会を開催。札幌市西野第2都市環境緑地の整備方針について、検討し承認。奈井江民有林植林事業は計画をさらに煮詰めることになりました。連合からの助成金の内容によっては腰鋸の替刃を補助しよう、ということになりました。炭焼きはニセコ研修を踏まえて、ルーチン作業に組込み、積極拡大をしようということになりました。除・間伐材を林地に放置したままでは、もったいないばかりでなく、森

林火災発生の場合、延焼を助長させる危険物となります。集材し活用することを実行しましょう。

出席者：加治豊実、鎌田俊美、酒井和彦、開勘悦、松村清松、三浦裕、村上昭子、高野豊

北海道林業改良普及協会の出版物の紹介と取り次のお報せ

9月17日、北海道林業改良普及協会の副会長奈良賢氏がお見えになり、協会の出版する図書の普及を依頼されました。それぞれが、われわれの接する森林に関連することなので、購読をお勧めします。周りの、草木がまた違って見えるようになることでしょう。チラシを同封しました。購読希望の方は事務局にご連絡下さい。

炭焼き研修第一陣二セコへ出発

9月18日。第一陣10名が出発しました。この炭焼き窯は各森づくりセンターに配置されているそうなので、当別の石狩森づくりセンターにもあるはずです。森林総研には同じタイプで二周りも大きい窯があります。これからの間伐材活用で使用させてもらう機会があれば幸いです。

焼いた炭は木炭として燃焼用にするより、むしろ臭気の吸着や湿度の調整用として乗用車内とか室内やトイレに安置しておく使い方をお勧めします。

24日出発の第二陣は、行程が1泊2日にちじまりました。参加者にはスケジュール表を同封します。